

著者紹介

愛須 英之

(株)東芝研究開発センター所属。1989年早稲田大学機械工学専攻修了。同年(株)東芝入社。人工知能技術、最適化技術の応用に関する研究開発に従事。日本知能情報ファジィ学会、計測自動制御学会各会員。

阿部 正佳

昭和59年東京理科大学工学部数学科卒業。ソフトウェア会社勤務を経て、平成14年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻修士課程修了。言語処理系に興味を持つ。現在(株)ミラクルアーツ勤務。

小野田 崇

1988年(財)電力中央研究所入所。1997年より1年間、GMD FIRST 客員研究員。主として、機械学習手法の数理的側面およびその応用の研究に従事。

神場 知成 (正会員)

1984年東京大学工学部(電子工学)卒業。1986年同修士課程修了。同年日本電気(株)に入社。中央研究所を経て、2006年7月よりNECビッググループ(株)、博士(工学)。1997年本会坂井記念特別賞。

小池 晋一

1981年千葉大学卒業、日本電気(株)入社。現在、クライアント・サーバ販売推進本部シニアエキスパート。

斎藤 徹 (正会員)

1984年長岡技術科学大学大学院電気電子システム工学専攻修士課程修了。(株)本田技術研究所四輪開発センター主任研究員。外界センシングや通信を応用した運転支援などの車両の先進技術研究に従事。

櫻井 茂明

(株)東芝研究開発センター所属。1991年東京理科大学修士(数学)課程修了。同年(株)東芝入社。機械学習技術の研究開発に従事。博士(工学)、技術士(情報工学)、日本知能情報ファジィ学会など各会員。

櫻井 保志 (正会員)

1991年同志社大・工・電気卒業。同年NTT入社。1999年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。工学博士。本会論文賞受賞。ストリーム処理などの研究に従事。ACM、電子情報通信学会など各会員。

島津 秀雄

1982年慶應義塾大学大学院(修士)卒業後、日本電気(株)入社。大規模コールセンター部門の情報武装化と知識武装化を推進。同社インターネットシステム研究所研究部長を経た後、NECシステムテクノロジー(株)システムテク

ノロジーラボラトリ所長。博士(政策・メディア)。2005年「人工知能学会功労賞」受賞。

鈴木 貢 (正会員)

電気通信大学情報工学科助手。記憶管理アルゴリズム、並列/分散アルゴリズム、言語処理系等に興味を持つ。平成14年度本会論文賞受賞。ACM、電子情報通信学会、日本ソフトウェア科学会各会員。

武田 浩一 (正会員)

1983年日本アイ・ビー・エム(株)入社。東京基礎研究所にて機械翻訳、情報の可視化、テキストマイニング、診療情報分析システムなどの研究に従事。著書「インターネット機械翻訳の世界」(共著)。ACM、言語処理学会各会員。

田中 穂積 (正会員)

1964年東京工業大学工学部卒業。1966年同大学院理工学研究科修士課程修了。同年電気試験所(現産業技術総合研究所)入所。1980年東京工業大学助教授。1983年同大教授。同大学院情報理工学研究科教授を経て2005年より中京大学教授。博士(工学)。人工知能、自然言語処理に関する研究に従事。本会フェロー、電子情報通信学会、認知科学会、人工知能学会、計量国語学会、Association for Computational Linguistics 各会員。

近澤 武 (正会員)

三菱電機(株)情報技術総合研究所情報セキュリティ技術部専任。筑波大・第三・情報卒業。情報セキュリティの研究開発に従事。2006年4月よりIPA非常勤。ISO/IEC JTC 1/SC 27/WG 2 国際幹事。本会情報規格調査会標準化貢献賞など受賞。共著書「情報セキュリティ事典」(共立出版)、「情報セキュリティハンドブック」(オーム社)。

辻野 広司

1986年東京工業大学大学院情報科学専攻修士課程修了。(株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン チーフ・リサーチャ。脳型コンピュータ、ヒューマンマシンとインタフェースなどの研究に従事。

中田 育男 (名誉会員)

1960年東京大学数物系研究科修士課程修了。同年日立製作所に入社。1979年より、筑波大学電子・情報工学系教授、図書館情報大学教授、法政大学情報科学部教授を経て、現在法政大学情報科学研究科客員教授。

西村 雅史 (正会員)

1983年大阪大学大学院基礎工学研究科物理系博士前期課程修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)入社。以来、音声認識・音声合成の研究に従事。現在同社東京基礎研究所シニアテクニカルスタッフメンバー。工学博士。

西本 卓也 (正会員)

1995年早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。1996年京都工芸繊維大学工学部助手。2002年東京大学大学院情報理工学系研究科助手。音声対話システム、福祉情報工学、擬人化音声対話エージェントの研究に従事。

新田 恒雄 (正会員)

1969年東北大学工学部電気工学科卒業。(株)東芝勤務を経て、1998年豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授。音声認識・合成、顔画像認識、マルチモーダル対話システム、および概念獲得の研究に従事。工学博士。

比屋根一雄

1988年三菱総合研究所入社。信号処理、人工知能、画像認識等の研究開発、情報関連政策の調査研究に従事。OSS開発者調査、学校OSS導入実証実験等に携わる。日本OSS推進フォーラムステアリングコミッティメンバー。

堀越 節子

1982年日本電気(株)入社。2000年(株)日本電気特許技術情報センター出向。入社以来、主に特許情報調査に従事。2001～04年日本知的財産協会知的財産情報検索委員会メンバーとして国立情報学研究所と共同で特許テストコレクションの作成にかかわる。

松浦 博 (正会員)

1981年早稲田大学大学院理工学研究科博士前期課程修了。同年東芝入社。現在同社研究開発センター所属。不特定話者大語彙音声認識、マルチモーダルUIの研究等に興味を持つ。本会平成17年度論文賞受賞。工学博士。

丸山 文宏 (正会員)

1978年東京大学工学部卒業。(株)富士通研究所入社。現在、同社ITコア研究所主席研究員。工学博士。CAD、AI、CRM等の研究開発に従事。本会創立20周年記念論文賞、元岡賞等受賞。2004～06年本会理事。電子情報通信学会、人工知能学会、IEEE 各会員。

目黒浩一郎

1969年生。東京工業大学大学院理工学研究科修了。1994年(株)三菱総合研究所入社。ITS、事業評価、技術評価等に携わる。現在社会システム研究本部主任研究員。専門はITS/テレマティクス。

森 公一郎

1982年早稲田大学理工学部数学科卒業。現在エル・エス・アイジャパン勤務。ACM会員。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、4月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「工学と芸術を融合する若い息吹」につきましては、以下のような多数のご感想・ご意見をいただきました。

■工学と芸術の融合は古くから模索されてきており、それを今の時点で問い直すという点は興味深く感じました。ただ、工学サイドからの話題が大半であり、芸術サイドからの寄稿がもっとあれば、なお良かったと思います。(平川正人)

■工学から芸術には迫れないと私は考えます。工学と芸術の融合ではなく、絵とか音楽に対してコンピュータを試しに使ってみた、またはそれらの支援用の道具を作ってみたと考えるべきだと思います。(山田園裕)

■情報処理が向かう1つの方向性として、新たな右脳的世界への展開を感じつつ楽しく読ませていただきました。(匿名希望)

■デザインを語るメディア環境：デザインの理解の解釈、仮定については、さまざまな見解があると思う。特定のデザイナー身体、心理をモデル化するといっても、自称デザイナーから世界に名立たるデザイナーまでいるわけで、筆者がデザイナーを特定する行為からすでにデザインが始まっているような気がする。(匿名希望)

■工学と芸術の融合とのことで、新鮮ではあったが、「情報処理」の範疇とってよいのか？という感じがあります。単純に情報処理といっても限界が見えているようで、芸術の取り込みの必要性、そして芸術の分野での新しいアプローチという面もあり、一概に否定できません。(匿名希望)

■リアリティの再現：私自身もかつて、CGと実写画像の合成という研究テーマに携わっていたこともあり、とても興味深く拝見しました。写実リアルにしても、感性リアルにしても、人間の目を満足させるにはかなりのレベルが要求されるものです。さらなる完成度の向上を期待します。(菊地 誠)

■デザインを語るメディア環境：「デザインとアート」の章において、「デザイン=芸術+工学」と「デザイン=アート(芸術)」の表記があり、「デザイン、芸術、工学、アート」の関係が少し不明瞭であると感じました。しかしながら、「デザインは他者への思いやり」とし、使用者の意向を支援する姿勢は大変興味深くあります。さらに、RGBYやfuwapicaなどのシステムは、使用者自身が「思いをデザインし他者へ伝える」ことにも繋がるといえ、リモート・カラー・ブレンダなどの複数間ユーザ間でのコミュニケーションへの応用には期待が膨らみます。(匿名希望)

■音楽や映像の高速探索：最新の技術動向を興味深く読みました。時系列アクティブ探索法が、「自然な発想ではないけれど、実際にやってみると高い判別機能を有していることが分かった」というところは、常識にとらわれずにチャレンジする姿が見えて内心拍手を送りました。(匿名希望)

■どの記事もカラーの画像入りで文系出身者でも抵抗なく読めた。しかし、「ユーザ・エクスペリエンスのための物語性研究」を除いて、技術的な説明が込み入っていて、理解が追いつかないところがあったのは残念だった。最初の「編集にあたって」を前もって読んでおくことで全体像をつかめたのは大変よかった。また、執筆者がみな若い研究者ということで大変啓発された。(匿名希望)

■「工学と芸術を融合する若い息吹：編集にあたって」に、あたかもARToolkitというものを知らないといけなような文がある。このような、読者が目にしている「ハズ」と決めつけた文章を読むと気分を害してしまう。計算科学をメインとして情報処理に身を置いていると、ARToolkitというものを知る機会がない。そういう意味では読んで知識が増えたことはよかった。(匿名希望)

「解説：センサネットワークのためのデータベース技術」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■センサネットワークについてよくまとまっており、興味深く読めた。特にTinyDBについてよく理解できた。ストリーム研究プロジェクトについてStanford Universityなどのプロジェクトをあげていたが、この周辺動向を加えてより詳細に特集して欲しく思った。(平島大志郎)

■とても分かりやすく、楽しく読むことができました。私にとっては知らない分野の動向や技術でしたが、例文を示しながら解説していただけたことが大変有益でした。(岡田昌康)

■コピキタス社会の基盤技術が解りやすく解説され、参考になりました。これからもホットな分野の要素技術について、解りやすい解説記事を期待します。(匿名希望)

連載「ナレッジマネジメント『ナレッジマネジメントの新展開』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■非常に良い連載だと思う。ナレッジマネジメントは活用する組織によって大きく運用形式が異なると思われるので、具体的な成功例を数点とりあげて特集していただきたく思った。また、ナレッジマネジメントの評価はどのようにして行われているのかも知りたく思った。(平島大志郎)

■ナレッジマネジメントの応用として、プロジェクトマネジメントの分野へ適用した事例があれば、掲載していただきたい。(鹿島鉄雄)

■ナレッジマネジメントには個人的に興味を持っておりますので、興味深く読ませていただきました。本記事に関しては、特にナレッジマネジメントの課題について、具体的な文献を示していただければなおよかったと思います。ナレッジマネジメントの適用例が今後いくつか紹介されるとのこと、楽しみにしています。ぜひそれぞれの組織の具体的な取り組みを読者に共有できるように、形式知化してご紹介くださることを期待しています。(匿名希望)

連載「21世紀のコンパイラ道しるべ」COINSをベースにして『概要』につきましたは、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■コンパイラの連載に期待しています。大学の学科によっては、授業でうまくカバーできていない場合も多いのですが、自身の研究で基礎知識として利用することも多いと思います。(藤田昌宏)

■大学を卒業して以来、コンパイラの技術については考えておりませんでした。その意味で、コンパイラの話は私が教わったことよりも、目新しいものが多く、非常に興味深く読ませていただきました。これからも、このような基礎的な話題も重視していただきたく思いました。(山田宏之)

コラム「オープンソース事情『オープンソースソフトウェア(OSS)発展への期待』」につきましたは、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■非常に良い連載だと思う。今回のコラムではOSSに関連する、名前を知らない組織が多く存在することを認識できたが、それぞれの具体的な活動内容についても知りたく思った。また、OSSをベンダで使っていることの現状が掲載されていたが、OSSが大学の研究と結びついた例も具体的に知りたく思った。(平島大志郎)

■大学でソフトウェアの教育・研究に携わっている者として、オープンソースソフトウェアの存在は欠かせないものになってきています。そして大学を取り巻く諸々の環境から、その依存度は今後高まっていくものと予想します。本コラムを拜見して、日本の情報産業界が積極的にOSSを推進される決意を感じました。ユーザの一人としてその発展に期待しています。(匿名希望)

■オープンソースについて、学会という立場ではどうなのでしょうが？産業界は、特許による囲い込みを進めようとしているように感じますが、それだけでよいのでしょうか？(匿名希望)

コラム「私の情報整理術『ChangeLog メモによる自分データベースの構築』」につきましたは、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■毎月一番楽しみにしているのが「私の情報整理術」です。私は勤め

人+学生+主婦なので、効率のよい情報整理術とタイムマネジメント法を求めて日々試行錯誤しています。情報整理術と関連して、タイムマネジメント術の連載なども面白いと思います。(匿名希望)

その他の記事につきましたは、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■「おひいすらん」の“20年前のソフトウェア開発手法”に同感です。メインフレームのソフト開発の洗練されたプロセスは、プラットフォーム開発と並行してソフトを作るなど、今日の携帯等のソフト開発にそのまま適用できる点が多いと思うのですが、実際にはメインフレーム経験者の常識は携帯の開発現場ではなかなか受け入れられず、日々地団太を踏む思いです。(上田健之)

■今回の解説記事3件とも難解であった。特に、「セキュリティとプライバシーを両立させる匿名認証技術について」は、「編集子独白」でも感想が書かれている通り、数式で示されたアルゴリズムだけでなく、本文自体も専門外には難しい。(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■日本が作り上げた情報理論や情報技術で世界で広く使われている(世界的に認知された規格になっているなど)ものを特集して欲しい。(三好 彰)

■前年度の連載にあった「アメリカITまわりの話題」「日本のIT事情」は世間動向を知るために大変参考になったが、同じような連載企画があれば興味を持って読めると思います。(匿名希望)

■「情報処理学会に求められるもの」にもあるようにプログラミングの記事をもっと含めていただいた方がよいと思います。(櫻井成一朗)

■以前の号では書評があったと思う。読書の指針としたいので、短い囲み記事でもよいのでできたら再開してほしい。(匿名希望)

【本誌担当 田上敦士、大槻知史/書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL: http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html> でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL: http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4707.html



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2006年	論文誌「システム LSI 設計とその技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-L.html	9月15日(金)		
7月19日(水)～ 7月21日(金)	第9回画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2006) http://www.hci.iis.u-tokyo.ac.jp/MIRU2006/	3月16日(木)	当日可	仙台市青年文化センター
7月20日(木)	連続セミナー 2006 第2回「ビジネスにおけるシステム思考」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-2.html		定員になり次第	東京大学 本郷キャンパス理学部
7月20日(木)	第42回分散システム/インターネット運用技術・ 第20回高品質インターネット合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DSM42QAI20.html	5月19日(金)	当日のみ	神奈川大学
7月20日(木)～ 7月21日(金)	第34回 コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.sdl.hitachi.co.jp/csec/mt20060720.html	5月19日(金)	当日のみ	岡山大学
7月26日(水)	東海支部講演会「多視点幾何から広がる映像メディア技術」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		当日のみ 参加無料	名古屋工業大学6号館 11階大会議室
7月27日(木)～ 7月28日(金)	第174回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/NL174.html	5月9日(火)	当日のみ	はこだて未来大学
7月27日(木)～ 7月28日(金)	第144回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ICS144.html	5月20日(土)	当日のみ	東京工業大学大岡山 キャンパス
7月28日(金)	第71回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CH71.html	5月15日(月)	定員になり次第 参加者は前泊して いただきます。	ホテル・ベルセルバ (栃木県・喜連川温泉)
7月28日(金)	第56回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD56.html	5月19日(金)	当日のみ	山形大学工学部
7月31日(月)～ 8月2日(水)	2006年並列/分散/協調処理に関する『高知』サマー・ワーク シヨップ(SWoPP高知2006) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SWoPP2006.html	4月24日(月)	当日のみ	高知商工会館
8月7日(月)～ 8月8日(火)	JABEE 技術者教育プログラム自主研修会 http://www.ipsj.or.jp/12kyoiku/acre/T-Acc2006.html		定員になり次第	化学会館
8月7日(月)～ 8月8日(火)	第66回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MUS66.html	6月12日(月)	当日のみ	ピラ塩江 (香川県高松市)
8月17日(木)～ 8月18日(金)	第124回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG124.html	6月16日(金)		別府花菱ホテル
8月25日(金)	第97回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/IS97.html	6月9日(金)	当日のみ	情報サービス産業協会
8月26日(土)～ 8月28日(月)	情報教育シンポジウム 2006 http://ce.tt.tuat.ac.jp/index.php?SSS2006	6月2日(金)	当日可	駿河台学園箱根セミナー ハウス紅雲荘
8月31日(木)～ 9月1日(金)	東北支部「平成18年度電気関係学会東北支部連合大会」 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月16日(金)	当日可	秋田大学
8月31日(木)～ 9月2日(土)	ネットワーク生態学研究グループ 第2回サマースクール http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html	6月20日(火)	6月20日(火)	山形県 青年の家
9月5日(火)～ 9月7日(木)	連続セミナー 2006 第3回「情報システム構築アプローチ」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-3.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館
9月5日(火)～ 9月7日(木)	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2006/index.html		7月14日(金) 当日も可	福岡大学
9月12日(火)～ 9月13日(水)	第84回情報学基礎・第175回自然言語処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/FI84NL175.html	6月30日(金)	当日のみ	工学院大学
9月14日(木)～ 9月15日(金)	第128回マルチメディア通信と分散処理・第61回グループ ウェアとネットワークサービス・第33回電子化知的財産・社会 基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DPS128GN61EIP33.html	7月7日(金)	当日のみ	はこだて未来大学
9月15日(金)	第6回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sigbp/bio/index.html		当日のみ	奈良先端科学技術大学院 大学(予定)
9月15日(金)	第43回分散システム/インターネット運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DSM43.html	7月14日(金)	当日のみ	鳥取環境大学
9月15日(金)～ 9月17日(日)	エンタテインメントコンピューティング2006 http://www.entcomp.org/ec2006/ronbunyoiko.php	6月16日(金)	当日可	日本科学未来館
9月16日(土)～ 9月17日(日)	北陸支部「平成18年度電気関係学会北陸支部連合大会」 http://jhes.etc.kanazawa-it.ac.jp/	8月7日(月)		金沢工業大学 (石川県石川郡)
9月26日(火)	四国支部「平成18年度電気関係学会四国支部連合大会」 http://sjciee.ymw.ne.jp	7月28日(金)		愛媛大学城北キャンパス (松山市文京町)
9月27日(水)	第108回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL108.html	7月27日(木)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院 大学
9月28日(木)～ 9月29日(金)	東海支部「平成18年度電気関係学会東海支部連合大会」 http://www.ieice.org/tokai/rengo/	7月7日(金)	9月15日(金)	岐阜大学
9月28日(木)～ 9月29日(金)	九州支部「電気関係学会九州支部連合大会」 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月21日(金)	8月31日(木)	宮崎大学木花 キャンパス
9月29日(金)	第57回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD57.html	7月21日(金)	当日のみ	日立製作所大森ベルボ ート
10月11日(水)～ 10月13日(金)	The 3rd International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2006) http://www.icmu.org/icmu2006			BCS London Office, London, U.K.
10月11日(水)～ 10月13日(金)	2006 International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (UCS2006) http://www.ukoreaforum.or.kr/ucs2006/			COEX, Seoul, Korea
10月12日(木)～ 10月13日(金)	第61回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO61.html	8月11日(金)	当日のみ	豊橋商工会議所
10月19日(木)	連続セミナー 2006 第4回「情報システム部門のマネジメント」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-4.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月19日(木) ~ 10月21日(土)	第1回ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2006 (SES2006) http://ses2006.sys.wakayama-u.ac.jp/	7月7日(金)		日本科学未来館
10月19日(木) ~ 10月21日(土)	第1回組込みシステムシンポジウム (ESS2006) http://ess2006.media.kyoto-u.ac.jp/	7月7日(金)		日本科学未来館
10月23日(月) ~ 10月24日(火)	International Workshop on Security (IWSEC2006) http://www.iwsec.org/			京都
10月25日(水) ~ 10月27日(金)	第145回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ICS145.html	7月25日(火)	当日のみ	鈴鹿サーキットホテル (三重県)
10月27日(金)	第72回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CH72.html		当日のみ	八戸工業高等専門学校
11月10日(金) ~ 11月12日(日)	第11回ゲームプログラミングワークショップ http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/#nittei	7月16日(日)	10月28日(土)	箱根セミナーハウス
11月16日(木)	連続セミナー 2006 第5回「経営戦略とIT戦略」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-5.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館
11月23日(木) ~ 11月24日(金)	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2006 http://flab.aid.design.kyushu-u.ac.jp/DSM-symp/index.html	8月21日(月)		ハウスデンボスコトレ ヒト会議室
12月6日(水)	連続セミナー 2006 第6回「情報システム部門の役割と人材育成」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-6.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館
12月21日(木) ~ 12月22日(金)	第7回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html		当日のみ	電気通信大学
2007年				
1月15日(月) ~ 1月19日(金)	SAINT2007 The 2007 International Symposium on Applications and the Internet http://infonet.cse.kyutech.ac.jp/conf/saint07/	7月1日(土)		広島国際会議場
1月23日(火) ~ 1月26日(金)	Asia and South Pacific Design Automation Conference 2007 (ASP-DAC2007) http://www.aspdac.com/aspdac2007/	7月10日(月)		パシフィコ横浜
1月25日(木) ~ 3月5日(月)	ソフトウェアジャパン2007 第8回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/katsudou/sig/sighp/bio/index.html		当日のみ	タワーホール船堀 大阪大学豊中キャンパス
3月6日(火) ~ 3月8日(木)	第69回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/index.html			早稲田大学 理工学部 (大久保キャンパス)
3月15日(木) ~ 3月16日(金)	ネットワーク生態学研究グループ第3回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			中央大学・後楽園 キャンパス
9月5日(水) ~ 9月7日(金)	FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム			中京大学 豊田キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 6月16日 JABEE 技術者教育プログラム自主研修会参加申込受付中
- 6月15日 英文論文合同アーカイブズ (IMT: Information and Media Technologies) を公開しました
- 6月15日 人材募集情報 (6月) 更新しました
- 6月1日 FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム 聴講参加事前予約受付を開始しました
- 6月1日 コンピュータ博物館 英語版を改訂しました
各コンピュータのページに解説文を掲載しました。
- 5月29日 Web教材制作の公募のお知らせ

[学会からのお知らせ]

- 6月13日 「システム LSI 設計とその技術」特集の論文募集
- 6月6日 論文誌 (ジャーナル) の論文査読状況を更新しました
- 6月6日 平成 18 年度各種委員会の委員名簿を更新しました
- 6月2日 新名誉会員 平成 18 年度 功績賞 業績賞 長尾真記念特別賞 ご紹介
- 6月2日 第 49 回通常総会報告 平成 18 年度役員名簿

おひいすらん



近頃、散歩に出るときは、デジカメを持って出るようにしている。被写体は、古い建物。自分が明治末期か大正期に曾祖父が建てたと思われる古い家で育ったせいか古い日本家屋が懐かしくてたまらない。そのような家は20年ぐら

い前までは、そんなに珍しくもなかったはずなのだが、今や、わたしの実家のある田舎では、ほとんどお目にかかれなくなってしまった。高度経済成長期の建設ブームを経てバブル期までには、ほとんど消滅したのではないと思われる。しかし東京都内で、今が平成18年であるのが信じられなくなるぐらいの古い民家に遭遇することがある。都会は住宅が密集していて、建て替えが難しいことが幸いしたのか、または取り壊しをためらわせる立派な家が多かったためか。しかし、そのうちの多くはすでに空き家となっていて、取り壊されるのも時間の問題と

なっているようだ。わたしが今住んでいる近所でも昨年の夏に立派な木造二階建ての日本家屋が取り壊されてしまった。調べてみたら、その辺りは、旧中仙道沿いで江戸時代からの老舗も多く、取り壊された家も明治の末頃の建築だったようだ。関東大震災も戦災も免れ百年余りもずっとそこに存在してきたのに、あっけなくなくなってしまったことが残念で仕方がない。跡地は、近隣の住民の反対にかかわらずマンションが建設予定となっている。最近また、散歩中に見つけた大正13年建築というお宅の前に売却をほのめかす不動産屋の張り紙を発見してしまった。また懐かしいたたずまいが消えて無味乾燥な鉄筋コンクリートの建物になってしまうのだろうかと思うと寂しい限りである。なんとか保存できないものなのだろうかと思いつつ、デジカメ片手に散歩に出る日々である。

(木村敏子/規格部門)

■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌(ジャーナル)の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌(トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJメールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限: 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本会Webページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■国士館大学理工学部(開設届出手続中) 理工学科

募集人員 教授もしくは助教授 2名
専門分野 【情報・ソフトウェア】電子情報分野におけるソフトウェア工学、プログラミング、ITシステム応用、オープンシステムのエンジニアリングデザインなどに関する分野
 【通信・メディア】電子情報分野におけるデジタル通信、インターネット、放送メディアコンテンツなどに関する分野
応募資格 博士の学位を有する方、大学院博士課程で教育・研究指導ができる方、平成19年4月1日現在で、年齢満55歳以下の方が望ましい
着任時期 平成19年4月1日
提出書類 履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記)、研究業績(学術論文、国際会議Proceedings、原著・編著書、総説・学術資料、その他に分類)、主要論文別刷(5編程度、コピー可)、その他の業績(特許など)、教育実績、所属学協会およびその学協会での活動歴、社会貢献実績、受賞歴(単名と連名を明記)、科学研究費などの研究資金の獲得状況(代表と分担を明記)、これまでの主要研究の概要と今後の研究計画、教育と研究についての今後の抱負(2000字程度)、応募者への推薦書、応募者について意見を伺える2名以上の方の氏名・所属および連絡先
応募締切 平成18年7月31日(必着)
送付先/照会先 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1 国士館大学工学部電気電子工学科 主任 原田 豊
 E-mail:yharada@kokushikan.ac.jp Tel/Fax(03)5481-3345 「教員公募書類在中」と朱書し応募分野を明記の上、簡易書留
 *応募書類などは、原則として返却いたしません
その他 本学Webページ(<http://www.kokushikan.ac.jp>)を参照ください
【選考方法】書類審査後、面接およびプレゼンテーションによる選考を行います

■北陸先端科学技術大学院大学

募集人員 講師(テニュアトラック) 8名
専門分野 ①ナノマテリアルテクノロジー 5名 ②ナノマテリアルテクノロジーに関連した情報科学分野 3名
着任時期 平成18年10月以降
提出書類 履歴書、研究業績リスト(研究論文は、国際論文誌、査読付き国際会議、国内の論文誌、その他に分けて年代の逆順(最近のものから過去にさかのぼる)にリストしてください)、研究論文とは別に学会誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの学術的貢献のリスト、主要論文別刷(5編以内、コピー可)と内容要旨の説明文、これまでの研究概要(1000字程度)、今後の教育・研究計画(1000字程度)、応募者の業績をよく知っている方(3名)からの推薦状(E-mailアドレス明記)
応募締切 平成18年7月31日(必着)(第一次) *募集人員が満たされるまで応募を受け付けます
送付先/照会先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 副学長 牧島亮男
 E-mail:makisima@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1002(ダイヤルイン) Fax(0761)51-1058
その他 【背景】本学では、厳格な審査を経てテニュア付で昇任させることを目的とし、若手研究者の成長を支援し、定着させることを目的とした、国の「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」プログラムに採択され、講師8名を平成23年3月までの任期を付して採用する。新任講師には、独立研究室を与え、1人1千万円のスタートアップ研究資金と博士研究員の雇用経費を措置する。3年目には、テニュア予備審査を行い、適格者はその後テニュア付の准教授へ昇任させる。なお、女性または外国人研究者の応募を歓迎する
 本学Webページ(<http://www.jaist.ac.jp/index-e.html>)を参照ください

有
料
会
告

■金沢大学大学院自然科学研究科電子情報工学専攻

募集人員	教授 1名
所属	自然科学研究科博士前期課程電子情報工学専攻, 自然科学研究科博士後期課程電子情報科学専攻, 情報システム工学科(生命・情報システム分野)
専門分野	生命情報工学(バイオインフォマティクス, ゲノムデータベースなど)
担当科目	遺伝子情報科学, ゲノム情報処理, バイオインフォマティクスなど
応募資格	博士の学位を有し, 博士後期課程を担当できる方. 50歳未満が望ましい
着任時期	平成18年度中のできるだけ早い時期
提出書類	履歴書(市販履歴書, 学歴は高卒以降, 学位, 職歴, 賞罰について自筆記入), 個人調書*(履歴, 研究業績リスト, 研究活動・教育活動・学会および社会活動について, 教育研究に対する抱負), 主要論文別刷(5編程度), 本人について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先 * http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/~syomu/info/koubo.html から取得できる教員公募用書式を利用し, 印刷物(ハードコピー)とともに, 電子メディアを添付すること
応募締切	平成18年8月4日(必着)
送付先	〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学大学院自然科学研究科 電子情報工学専攻長 山田 実 E-mail:myamada@t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-4866 「生命・情報システム分野」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却しません
照会先	電子情報工学専攻 村本健一郎 E-mail:muramoto@t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-4890
その他	【選考方法】書類審査の上, 面接を行います

■東京農工大学大学院共生科学技術研究院システム情報科学部門

募集人員	特任助教授(研究)テニュアトラックポスト 1名程度(任期平成23年3月まで. ただし任期中の研究教育業績の評価に基づき, 任期なしポストに採用されます)
専門分野	情報工学
応募資格	博士の学位を有しており, 情報工学に該当する領域(セキュアードシステム, ユビキタスシステム, データベースシステム, ソフトウェア工学)において, 独創的な研究を推進している方を対象とする. 数年間以上の助手やポストドクの経験または企業勤務経験があることが望ましい. また, 「若手研究者の自立的環境整備促進」プログラムの趣旨から, 着任時に30~37歳程度の方が望ましい
着任時期	平成18年10月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類	(1)応募申請書(履歴書, 研究業績リストなど. 和文一部英文), (2)主要論文別刷(5編以内), (3)これまでの研究成果の概要(図を含めA4用紙2枚以内. 和文および英文), (4)本学における研究計画の概要(図を含めA4用紙2枚以内. 和文および英文), (5)教育に関する抱負(A4用紙1枚以内. 和文) *日本語を母語としない方は, 英文のみによる申請が可能ですので, 詳細は英文募集要項をご覧ください * (1)応募申請書を下記Webページからダウンロードしてください. その他の書類は, 任意に作成ください. (1)~(5)の提出書類を1つのPDFファイルとし, 下記の送付先に電子メールで提出してください. 主要論文のPDF化が困難な場合には, 主要論文以外の書類をPDF化して指定のアカウントに電子提出すると同時に, 印刷した応募書類一式(各正1部, 副3部)を下記送付先まで郵送してください
応募締切	日本時間で平成18年8月8日16時(必着)
送付先	電子ファイル: E-mail:wa-sien@cc.tuat.ac.jp 印刷応募書類(電子提出が困難な場合): 〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1 東京農工大学 若手人材育成拠点支援室 〒185-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学大学院共生科学技術研究院システム情報科学部門 教授 北嶋克寛 E-mail:f-w-sien@ml.tuat.ac.jp
照会先	
その他	一次審査通過後に学位証明と健康診断書を提出していただきます 詳細はWebページ(http://www.tuat.ac.jp/general/koubo/koubo200.html)をご覧ください

■大妻女子大学社会情報学部社会情報学科・社会情報処理学専攻

募集人員	教授・助教授または講師 1名
専門分野	情報処理
担当科目	情報科教育法(教職課程科目), 情報処理原論, コンピュータの基礎, プログラミングの基礎・基礎演習(C言語), アルゴリズム論および演習など
応募資格	出身学部は問わないが, 博士の学位を有するか, またはそれと同等以上の教育・研究実績があり, 採用時の年齢が30歳以上で上記の授業科目が担当可能な方
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	履歴書, 研究業績リスト(学術論文(査読の有無を明記)・解説・著書・教科書・その他を区分する), 主要論文別刷各1部(3編, コピー可. その要旨を各A4用紙300字程度にまとめて添付すること), 着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙で800字程度), 応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名のお名前とその連絡先
応募締切	平成18年8月11日(必着)
送付先/照会先	〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1 大妻女子大学社会情報学部社会情報処理学専攻 主任 村上弘幸 E-mail:murakami@otsuma.ac.jp Tel(042)339-0055 Fax(042)339-0044 「教員公募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は原則として返却しないが, 特に希望する場合はその旨書き添えること
その他	最終選考の段階で面接もあり得るが, 旅費は支給しない. 「情報科教育法」の担当については文部科学省の基準に照らして厳格に審査を行う. Webページ(http://www.otsuma.ac.jp/gakuin/)を参照ください

■大阪府立大学大学院理学系研究科情報数理学専攻／理学部情報数理学科

募集人員	教授 1名
専門分野	情報科学。ただし、講義科目として、大学院で、データベース論、ソフトウェアモデリング、ソフトウェア開発論のいずれかの内容の科目を、学部で、ソフトウェアモデリングまたはソフトウェア開発論、データベース論、ソフトウェア・演習、マルチメディア・実習を担当できることが必要です
応募資格	着任時に年齢が50歳以下で、博士の学位を有し、博士前期課程および博士後期課程の教育研究指導を担当できる方
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	履歴書(様式不問)、教育歴(様式不問)、研究業績書(様式不問)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、提出した論文の概要(各200～400字程度で、提出した論文のうち最重要と考える論文1編の概要に、「最重要」と記入してください)、現在までの研究概要(2000字程度)、今後の研究計画(2000字程度)、教育に対する方針と抱負について(2000字程度)、過去5年間の外部研究費取得状況、問合せのできる方2名の連絡先 *すべての提出書類はA4判とし、各書類に氏名を記入してください
応募締切	平成18年8月15日(必着)
照会先	大学院理学系研究科情報数理学専攻 馬野元秀 E-mail:umano@mi.s.osakafu-u.ac.jp Tel(072)254-9675
その他	詳細は本学Webページ(http://www.mi.s.osakafu-u.ac.jp/kobo/)の公募要項を参照してください

■湘南工科大学

募集人員	教授 1名
専門分野	広い意味で、コンピュータ応用エンジニアリングにかかわる分野。メカトロニクス技術、自動計測・自動制御技術、ヒューマンインタフェース技術、ユビキタス技術など
担当科目	コンピュータリテラシ、プログラミング実習、システム設計工学、機械構造設計工学、メカトロニクス機器、コンピュータエレクトロニクス、放送技術、関連する数学などから年間数科目。TPL2、3(2、3学年の学生実験に相当。詳細は問い合わせてください)。卒業演習、研究
応募資格	博士の学位(分野は不問)を有し、私立大学学部における教育・研究と運営に熱意と能力があると認められる方。上記の専門分野のいずれかの分野で研究実績があり、今後も研究遂行・指導ができること、大学院での指導ができることが望ましい。年齢55歳未満の方
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	自筆履歴書、研究業績リスト(論文、国際学会発表、著書などに分類。国内口頭発表は不要)、主要論文別刷(5編以内、コピー可)、今後の教育研究についての抱負(A4用紙1枚以内)、推薦書1通または本人をよく知る方2名の氏名・所属・住所・連絡先
応募締切	平成18年8月18日
送付先	〒251-8511 神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-1-25 湘南工科大学 事務局長 難波洋雄 「コンピュータ応用学科教員応募書類」と朱書き書留
照会先	事務局長 難波洋雄 E-mail:namba@center.shonan-it.ac.jp Tel(0466)35-2055 または 工学部コンピュータ応用学科長 日高建彦 E-mail:hidaka@sc.shonan-it.ac.jp Tel(0466)30-0192

■鹿児島大学工学部情報工学科

募集人員	教授 1名
専門分野	次のいずれかの分野：A.「通信ネットワーク」・「情報処理システム」の分野 B.「数値情報工学」の分野 C.「知能ロボティクス」・「視覚認知情報処理」の分野
担当科目	情報通信ネットワーク、信頼性工学、情報理論、知能ロボット工学などからご担当いただける科目
応募資格	情報関連分野の博士の学位を有し、当該専門分野における研究業績があり、学部・大学院(博士前期・後期)の教育と研究を担当できる方。着任時点で55歳以下が望ましい
着任時期	平成19年4月1日
提出書類	履歴書、教育業績、教育に対する抱負(2000字程度)、研究歴(科学研究費補助金、共同研究費などの外部資金獲得、特許など)、研究業績リスト(審査付き論文、国際会議論文(査読付き)、著書、総説・解説など、その他、に分類)、主要論文別刷(5編、コピー可)、研究に対する抱負(2000字程度)、学会活動歴、管理運営・社会活動に対する抱負(500～800字程度)、その他特記事項、参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
応募締切	平成18年8月31日(必着)
送付先	〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学工学部 教員選考委員会(総務係気付)選考委員長 山下喜市
照会先	情報工学科 学科長 渡邊 睦 E-mail:mutty@ics.kagoshima-u.ac.jp

■筑波大学大学院システム情報工学研究科知能機能システム専攻

- 募集人員 助教授または講師 2名
 専門分野 人間を中心に通信・機械・センシング・コンピュータの複数の分野にまたがる学際的分野（たとえば、インタラクション工学、モバイル情報通信、人間支援システム、人間情報科学など）
 職 務 工学システム学類（学部に対応）における数学・計算機・物理などの基礎科目の教育、大学院における教育（講義、研究指導、または研究指導補助）と、専門分野における研究
 応募資格 博士の学位を有し（着任時期までに取得見込みも可）、専門分野において優れた研究業績があり、学類、大学院での教育に熱意を持つ方
 着任時期 平成19年4月1日までのできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書（連絡先とE-mailアドレスを明記）、研究業績リスト（審査付き雑誌論文、審査付き国際会議論文、著書、解説、その他のすべての研究発表、特許、受賞、外部資金獲得実績、資格（技術士など）などに分類したもの）、主要論文別刷（5編程度、各1部、コピー可）、これまでの研究経過と着任後の研究計画（A4用紙1枚程度）、教育研究についての抱負（A4用紙1枚程度）、推薦を期待できる方2名の氏名
 応募締切 平成18年8月31日（必着）
 送付先／照会先 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学システム情報工学研究科知能機能システム専攻長 鬼沢武久
 E-mail: onisawa@iit.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5060 「助教授応募書類」または「講師応募書類」と朱書き書留か宅配便
 そ の 他 詳細はWebページ（<http://www.iit.tsukuba.ac.jp/>）を参照ください
 助教授ポスト、講師ポストの両方に応募する場合には、応募書類を別々に2通お送りください

■公立はこだて未来大学システム情報科学部情報アーキテクチャ学科

- 募集人員 教授、助教授または講師 1名
 専門分野 人間と情報あるいは情報機器とのかかわりあいに注目したデザイン分野
 担当科目 情報表現基礎、情報デザイン、ヒューマンインタフェース、ユーザ・センタード・デザインなど
 応募資格 学位（修士または博士）を有する方、または応募分野における研究・実務に経験豊富な方、年齢50歳以下が望ましい
 着任時期 原則として、平成19年4月1日
 提出書類 本学Webページ（<http://www.fun.ac.jp/>）「教員募集のお知らせ」より様式をダウンロードしてください
 応募締切 平成18年8月31日（必着）
 送付先 〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学事務局教務課教務係 Tel(0138)34-6421
 「情報アーキテクチャ学科認知科学分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 照会先 情報アーキテクチャ学科 学科長 高橋 修 E-mail: osamu@fun.ac.jp Tel(0138)34-6225（直通）

■千葉工業大学工学部電気電子情報工学科

- 募集人員 教授、助教授または講師 1名
 専門分野 情報工学分野（音声処理、データベース、セキュリティなど）
 担当科目 情報基礎論、信号処理など
 応募資格 大学院の研究指導ができる方、50歳以下（教授の場合）が望ましい
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書、研究業績リスト（学会誌論文、国際会議論文、その他論文、講演論文に分類）、最近5年間の主要論文別刷、教育研究に関する抱負（2000字以内）、応募者について所見を伺える方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成18年9月1日
 送付先／照会先 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1 千葉工業大学工学部電気電子情報工学科 教授 森田長吉
 E-mail: morita.nagayoshi@it-chiba.ac.jp Tel(047)478-0371 「教員公募書類在中」と朱書き簡易書留
 *提出書類は原則として返却しません
 そ の 他 書類選考の後、面接を行います

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授, または助教授 いずれか1名
専門分野 情報工学分野に関連した制御工学およびその応用分野. 実験系の研究, 開発を行っている方
担当科目 デジタル制御, 適応制御, 情報処理工学実験など
応募資格 専門分野の研究業績があり博士の学位を有する方, または着任までに取得できる方. 大学院の担当が可能なる方. 年齢40代から60代まで. 教育歴のあることが望ましい
着任時期 平成19年4月1日
応募締切 平成18年9月1日(必着)
提出書類 履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動など, 別途FDなどで提出のこと), 研究業績リスト(査読付き論文, 国際会議, 紀要を区別のこと), 主要論文別刷(5編程度), これまでの主要研究の概要と今後の研究計画, および教育に対する抱負(JABEE認定を含む, 1000字程度)
送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 重松 亮 Tel(092)606-0647 (ダイヤルイン)
Fax(092)606-7310 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
*原則として, 応募資料は返却いたしませんのでご了承ください. 返却をご希望の方は, その旨お申し出ください
照会先 情報システム工学科 学科長 庄司文啓 Tel(092)606-4991 (ダイヤルイン)

■横浜国立大学

募集人員 助手または講師 1名
所属 大学院工学研究院知的構造の創生部門電気電子と数理情報分野
(兼務)大学院工学府物理情報工学専攻電気電子ネットワークコース, (兼務)工学部電子情報工学科
専門分野 情報工学に関連の分野, 特に次のいずれかの分野が望ましい. (1) コンピュータアーキテクチャ, 並列コンピューティングなど, (2) データマイニング, 機械学習など, (3) インターネット, ネットワークセキュリティなど, (4) 音声, 画像, マルチメディア認識, ネットワークロボットなど, (5) バイオインフォマティクス(生体情報学), 医療・福祉情報処理など, (6) ユビキタス情報通信システム, 高度交通システム(ITS)など
応募資格 博士の学位を有し, 着任予定時点で年齢30歳程度の方が望ましい. 平成19年3月博士の学位取得見込みの方も可
着任時期 平成19年4月1日(予定)
提出書類 履歴書, 業績リスト, これまでの研究業績とこれからの研究計画概要(A4用紙1~2枚程度), 主要論文別刷(コピー可), 博士課程の在籍者は指導教員の推薦書1通, 他の推薦者2名ならびに推薦者の連絡先
応募締切 平成18年9月1日(消印有効)
送付先/照会先 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5 横浜国立大学工学研究院知的構造の創生部門電気電子と数理情報
教授 石井六哉 E-mail:ishii@ynu.ac.jp Tel(045)339-4127 Fax(045)338-1157 *提出書類は返却いたしません
その他 提出された書類については, 選考に係る審査のみに利用し, 本学の規則に基づき適切な管理に努めるものとします

■獨協大学経済学部経営学科

募集人員 助教授または専任講師 1名
担当科目 データベース論(情報検索演習(司書課程)も担当可能な方)
応募資格 着任時(平成19年4月1日現在)40歳以下で, 博士号取得者(取得見込みを含む), またはそれと同等の能力があると認められる方
着任時期 平成19年4月1日
提出書類 履歴書*, 研究業績リスト*, 公刊された論文・著書のうち主要なもの3点(修士論文を除く, 各3部, コピー可), 学部・大学院の卒業または修了(満期退学)証明書各1通, 指導教員の推薦書1通(ただし現在, 大学・研究所・企業等の在職者は不要)
*履歴書・研究業績リスト書式は本学Webページ(<http://www.dokkyo.ac.jp/contents/recruit/index.htm>)からダウンロードできます
応募締切 平成18年9月8日(必着)
送付先 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 獨協大学経済学部長室 「データベース論応募書類在中」と表記し書留
*不採用の場合に業績(現物のみ)の返送を希望される方は, その旨をお書き添えください
照会先 E-mail:deaneco@stf.dokkyo.ac.jp Tel(048)946-1929 Fax(048)943-3153
その他 【選考方法など】業績審査および日本語による面接. 第一次選考合格者は, 第二次選考(面接)を10月に予定

■青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科

- 募集人員 教授, 助教授または講師 1名
 専門分野 ヒューマンコンピュータインタラクションやグラフィクス・ビジュアルコンピューティングなどを中心とする情報科学・工学分野
 担当科目 ヒューマンコンピュータインタラクション, 認知科学, 高次ヒューマンインタフェース, プログラミング実習, などから専門に近い科目
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院での指導ができること, 情報テクノロジーに関する教育・研究に熱意を持っていること, 専門分野について高度の業績を有すること, キリスト教について十分な理解があること
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書(市販用紙使用, 連絡先にE-mailアドレスを含めること), 研究業績リスト(著書, 学会誌掲載の査読のある研究論文, 学会誌掲載の解説論文, 国際会議論文, 口頭発表に伴う学会論文集掲載論文などに分類のこと), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), これまでの研究の概要(A4用紙2枚程度), 今後の研究計画(A4用紙2枚程度), 教育に対する抱負(A4用紙2枚程度), 本人に関する所見を伺える方2名の氏名および連絡先
 応募締切 平成18年9月11日(必着)
 送付先/照会先 〒229-8558 神奈川県相模原市淵野辺5-10-1 青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科 教授 原田 実
 E-mail:harada@it.aoyama.ac.jp Tel(042)759-6321 Fax(042)759-6495
 「情報テクノロジー学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *応募書類は返却いたしません
 その他 書類選考の結果により面接(9月23, 24日などを予定)を実施します。面接へ進まれる方への連絡はメールで行います

■近畿大学理工学部情報学科

- 募集人員 教授, 助教授または講師 1名
 専門分野 メディア情報学
 担当科目 デジタルコンテンツ, マルチメディア情報処理など
 応募資格 博士(またはPh.D)の学位を有する着任時55歳までの方。心身が健康であり, 教育・研究に熱心な方。科目担当教員として十分な研究業績を有する方。大学の管理・運営に対して十分な能力と熱意のある方
 着任時期 平成19年4月1日(予定)
 提出書類 履歴書*, 研究業績集計表(著書, 学術論文, 国際会議録, 講演発表論文, 特許などの業績)*, 研究業績書**, これまでの研究概要(A4用紙2000字以内, 任意の書式), 主要論文別刷(5編, コピー可), 本学における今後の教育・研究に対する抱負(A4用紙2000字以内, 任意の書式), 推薦書(自薦も可)または当方から応募者に関する問合せ可能な複数の方の連絡先, 連絡先(電話番号, E-mailアドレス) *本学部所定の様式 **本学部所定の様式または任意の書式
 ※応募資料はWebページ(<http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/honbu/side/saiyo/rikou/04.html>)からダウンロードしてください
 応募締切 平成18年9月15日(必着)
 送付先/照会先 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1 近畿大学理工学部 情報学科長 嶋野法之
 E-mail:shimano@info.kindai.ac.jp Tel(06)6721-2332(ext.4026) Fax(06)6727-4301 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *応募書類は原則として返却しませんのでご了承ください
 その他 ご応募いただきました情報は, 本学の採用に関するデータとして利用し, その他の目的には利用いたしません
 改めて健康診断書などの書類提出をお願いする場合があります
 【選考方法】第一次選考: 書類審査(結果は10月中旬に本人宛通知します)。第二次選考: 書類審査後面接および公聴会を実施します(選考日は, 本人宛に通知します)

■神奈川工科大学情報学部情報工学科

- 募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 組み込みシステム, 制御系ソフトウェア
 担当科目 計算機概論, 論理回路, C++言語, JAVA言語など
 応募資格 着任時35~52歳程度の方で, 情報技術教育に熱意がある博士号取得者(取得見込みを含む)
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書・教育研究業績リスト*, 主要論文別刷, 教育および研究に対する抱負(1000字程度), 推薦書(または所見を求め得る方の氏名と連絡先) *所定書式がありますので, 下記照会先へご連絡ください
 応募締切 平成18年9月29日(必着)
 送付先 〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学庶務担当部長気付 情報工学科教員選考委員長
 「情報工学科教員応募」と朱書き書留 *提出書類は原則として返却いたしません
 照会先 情報工学科教員選考委員長 山本富士男 E-mail:yamamoto@ic.kanagawa-it.ac.jp Tel(046)291-3181

■北見工業大学工学部情報システム工学科

- 募集人員 教授または助教授 1名(業績と年齢によって判断)
 専門分野 画像情報工学
 担当科目 学部科目の画像情報処理, コンピュータ入門, 情報数学基礎Iなどを担当するとともに, 関連する専門分野の大学院博士前期・後期課程科目を担当
 応募資格 博士の学位を有する方. 大学院博士後期課程を担当できる方. 画像情報工学において研究・教育に実績があり, 画像工学の医療への応用など, 医学と工学の連携を推進できる方. 国籍は問わないが, 教育・研究指導を行うための十分な日本語能力を有する方. 教授は55歳以下, 助教授は45歳以下が望ましい
 着任時期 平成19年4月1日を希望
 提出書類 履歴書(学歴は高校入学以降), 研究業績リスト(論文, 著書などに分類して記載), 主要論文別刷(5編, コピー可), 外部資金獲得状況一覧表, 今後の教育と研究(医工連携の推進を含む)に対する抱負(それぞれ1000字程度), 推薦書1通または照会可能な方2名の連絡先
 応募締切 平成18年9月29日(必着)
 送付先/照会先 〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学情報システム工学科 河野正晴
 E-mail:kouno@mail.kitami-it.ac.jp Tel(0157)26-9337 Fax(0157)26-9337 「教授・助教授公募書類」と朱書き書留
 その他 【任期】5年. ただし, 任期満了時再任審査により再任可. また, 所定の要件を満たせば65歳まで在職可能
 【選考方法】一次選考(書類審査)を通過した方について, 面接による最終選考を行います. なお, 面接にかかわる旅費は本人負担となります

■静岡大学工学部システム工学科

- 募集人員 助手 1名(任期:5年, 再任1回可)
 専門分野 音声・メディア情報処理, 知能・認知情報処理
 担当科目 コンピュータ関連実習・演習の担当およびコンピュータによる講義・演習支援環境整備のスタッフとしての担当ができる方(教育と研究の両方を主担当していただく予定です)
 応募資格 博士の学位を有する方(取得見込みを含む). 着任時33歳以下が望ましい
 着任時期 平成19年4月1日までのできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(主要なもの3編以内とし, 査読付きのものとは他と区別すること), 論文別刷(コピー可), 推薦書1通または本人に関する所見を求め得る人の氏名とその連絡先(2名), これまでの研究業績の概要(A4用紙1枚), 今後の教育と研究の抱負(A4用紙1枚)
 応募締切 平成18年9月29日(必着)
 送付先/照会先 〒432-8561 静岡県浜松市城北3-5-1 静岡大学工学部システム工学科 新妻清三郎
 E-mail:sei@sys.eng.shizuoka.ac.jp Tel(053)478-1201 「応募書類在中」と朱書き簡易書留
 その他 学科Webページ(<http://www.sys.eng.shizuoka.ac.jp/>)を参照ください

■山口東京理科大学基礎工学部電子・情報工学科

- 募集人員 教授または助教授 1名
 専門分野 情報工学
 担当科目 コンピュータシステム, オートマトン, ソフトウェア工学, プログラミング実習など
 応募資格 博士の学位を有する方で年齢40~50歳が望ましい
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷, 教育への抱負(1000字程度), 研究計画(1000時程度), 推薦書, 推薦者以外で所見を求め得る方の氏名および連絡方法
 応募締切 平成18年9月30日(必着)
 送付先/照会先 〒756-0884 山口県山陽小野田市大学通1-1-1 山口東京理科大学基礎工学部電子・情報工学科 藤井洋二
 E-mail:fujii@ed.yama.tus.ac.jp Tel/Fax(0836)88-4542

■佐賀大学工学部知能情報システム学科

- 募集人員 助教授または講師 1名
 所 属 計算システム学講座
 専門分野 情報工学
 応募資格 博士の学位を有する方(着任時までに取得見込みを含む)、コンピュータサイエンスのコア科目などの学部/大学院の講義および学生指導ができる方、教養教育科目を担当できる方、コンピュータサイエンスを中心とする分野の研究に意欲的に取り組んでいる方、大学の置かれている状況をよく理解している方、着任時40歳未満であることが望ましい
 着任時期 平成19年4月1日までのできるだけ早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(著書、査読付き論文、国際学会論文、その他に種別すること、また、印刷中のときはそのことを明記すること)、研究業績の概要および将来の研究計画(A4用紙1枚程度)、教育・国際貢献・地域貢献に対する抱負(A4用紙1枚程度)、主要論文別刷(3編程度、コピー可)、本人についての所見を求め得る方の氏名と連絡先
 応募締切 平成18年10月10日(必着)
 送付先/照会先 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄1 佐賀大学工学部知能情報システム学科 学科長 山下義行
 E-mail:yaman@is.saga-u.ac.jp Tel(0952)28-8859 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留
 そ の 他 選考の過程で面接をお願いすることがあります(その場合、旅費等は応募者自己負担とさせていただきます)
 詳細は学科Webページ(<http://www.is.saga-u.ac.jp/is.j.html>)を参照ください

■東北大学大学院情報科学研究科

- 募集人員 教授 1名
 所 属 情報基礎科学専攻アーキテクチャ学分野
 専門分野 本大学院研究科において、計算機アーキテクチャ学に関する先導的な研究・教育を行うとともに、博士前・後期課程の研究指導を行える方。特に、システム設計、シミュレーションなどの応用を念頭に置いた並列処理方式および計算機アーキテクチャ学の確立を理論的、実験的研究に基づいて展開し得る方で、かつその分野の教育に情熱を有する人物を求めています。なお、当研究科は大学院独立研究科であり、当該分野は学部教育については、工学部機械知能・航空工学科の兼任となり、機械系の教官との連携のもとに学部講義、研修、卒業研究指導を行っていただきます
 応募資格 博士号取得者。年齢については特に制限をしません
 着任時期 平成19年4月1日以降の早い時期
 提出書類 履歴書、教育と研究に対する抱負、研究業績リスト(学術論文(全文査読の論文)、参考論文(前記以外の論文)、解説記事、特許、受賞、代表者としての研究費獲得状況、学会および社会における活動状況、その他の特記事項に分類)、主要論文別刷(5編、コピー可)およびそのそれぞれの概要、本人の能力・人柄を評価できる5名の名前・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス
 応募締切 平成18年10月31日(必着)
 送付先/照会先 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-01 東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻 専攻長 山本 悟
 E-mail:yamamoto@caero.mech.tohoku.ac.jp 「公募書類在中」と朱書し書留 *応募書類は、原則として返却いたしません
 そ の 他 詳細等は情報科学研究科Webページ(<http://www.is.tohoku.ac.jp>)を参照ください

■東京理科大学工学部第二部経営工学科

- 募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 経営工学およびその関連分野
 担当科目 情報工学基礎論、情報システム工学、オペレーションズリサーチ、シミュレーション工学、コンピュータ・コントロールなど
 応募資格 次のすべての条件を満たす方:着任時に博士の学位を有する方、大学院での研究指導・教育も担当できる方、原則として年齢44歳以下の方
 着任時期 平成19年4月1日
 提出書類 履歴書*, 研究業績リスト*, 論文別刷または著書(計3編, コピー可), 研究・教育に対する抱負(特に社会人を含む多様な学生を対象とした夜間教育について, A4用紙2枚以内) *書式は<http://www.ms.kagu.tus.ac.jp/common/forms.html>を参照ください
 ※面接等の連絡は原則としてE-mailで行うので、履歴書にE-mailアドレスを必ず記入してください
 応募締切 平成18年9月1日(必着)
 送付先/照会先 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学工学部第二部経営工学科 教授 野口幸雄
 E-mail:noguchiy@ms.kagu.tus.ac.jp Tel(03)5228-8357 (ダイヤルイン)
 「工学部第二部経営工学科教員応募書類在中」と朱書し書留 *応募書類は原則として返却しません
 そ の 他 本学Webページ(<http://www.rs.kagu.tus.ac.jp/kougaku2/mana/>)を参照ください
 選考結果は推薦者または応募者にお知らせします
 平成18~20年度は九段校舎で勤務

ご意見をお寄せください！

【8月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4707.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
 2. ご所属 Tel. () -
 3. E-mail:
 4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
 5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
 6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
 7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 7-
 8. あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8-
 9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
 10. 今月号 (2006年7月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 特集：人工知能技術と産業応用
1. 人工知能の産業応用の現状調査と事業化への課題分析 10-1-
 2. 電力分野における人工知能技術の過去・現在・未来 10-2-
 3. 製造、サービス分野と人工知能技術 10-3-
 4. ビジネス・インテリジェンスと人工知能技術 10-4-
 5. オフィスと人工知能技術 10-5-
 6. 電子商取引と人工知能技術 10-6-
 7. 自動車・交通分野における人工知能技術 10-7-
 - ITS / カーエレクトロニクス技術の現在 10-8-
 - 時系列データのためのストリームマイニング技術 10-9-
 - 音声言語インタフェースのための情報処理学会試行標準 10-10-
 - ナレッジマネジメント：KM 再考：Web2.0 時代のナレッジマネジメント 10-11-
 - 標準化よもやま話：標準化は面白い 10-12-
 - 21 世紀のコンパイラ道しるべ：COINS をベースにして：TMD によるコード生成 10-13-
 - オープンソース事情：企業が作るオープンソース 10-14-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
 12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

「人工知能技術と産業応用」特集が組まれた理由の1つは、今年が人工知能に関する初めての研究集会であるダートマス会議が米国で開催されてから50年という節目の年だからです。筆者自身、50年の歴史を持つ人工知能が、今日どれほど産業界に貢献しているのかわかりませんでした。執筆の方々の原稿を拝見して、人工知能から派生するさまざまな技術が、幅広く深く普及していることがわかり、大いに安心しました。実際には、どの分野でも、昔のエキスパートシステムのように人工知能そのものが主役になるのではなく、要素技術として埋め込まれて使われているのですが、そのことが人工知能の技術としての成熟を意味しているのだと思います。偶然ですが、ちょうど本特集の編集中に、厚生労働省から日本の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に生む子供の数）が1.25人になったという発表

がありました。これは、一世代下になるごとに世代人口が半分強に減っていくことを意味しています。また、国連推計によると日本の平均年齢はすでに40歳を超えています。2025年には平均年齢が50歳を超えるそうです。これらの統計を悲観的に捉える風潮が一般的ですが、見方を変えると、人工知能によって人間の各種機能を身体と精神の両面から代替していく必要性が生じるのは、実はこれからの話です。そして、好奇心旺盛な日本人がどの国よりも早くその必要性に迫られて、人工知能の成果を社会に活用していき、その結果として、日本の技術力で世界をリードするようになって欲しいと思いました。人工知能の本当の最盛期はこれから来ると信じて、今回の特集の編集を終えたいと思います。

(島津秀雄／本特集ゲストエディタ)

次号（8月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」シンビオティック・システムの実現に向けて一人、社会、環境、情報システムの協調系—
Symbiotic Computing —ポスト・ユビキタス情報環境へ向けて—/アンビエント・ナレッジとトラスト/企業・組織・共生・計算/ソーシャルウェア/ウェアラブル・ユビキタスコンピューティング/情報システム基盤における **Symbiotic Computing** /共生情報システムの文化的意味とその応用/人間と共生する情報システムの実現を目指して

「ミニ小特集」コンピュータ将棋（仮）

全幅探索と学習による新感覚のコンピュータ将棋の成功とその高速アルゴリズムの及ぼす影響 / **Bonanza** のアルゴリズム—成功の秘密/コンピュータは本当に名人を超えられるか— **bonanza** の活躍/今年の選手権を観戦した女流プロとしての戸惑い

解説

高速電力線通信の現状と技術課題..... 北山匡史 他

トピックス

情報技術の国際標準化と日本の対応—2005年度のISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動— 情報規格調査会

連載 ナレッジマネジメント / 21世紀のコンパイラ道しるべ・COINSをベースにして

コラム オープンソース事情 / 地域社会とIT / 標準化よもやま話 / 私の情報整理術

複写される方に

〔R〕<学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記のIn the USAに記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for copyright for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

http://www.copyright.com

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20～50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ
(株) NTT データ



NTTコムウェア
NTT コムウェア (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

グーグル (株) / (株) NTT ドコモ / 日本電気 (株) / 日本電信電話 (株)

●●● 賛助会員 (3～9口)

OKI

沖電気工業 (株)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立アドバンスデジタル

松下電器産業 (株)

●●● 賛助会員 (2口)



(株) KDDI 研究所



NTT アドバンステクノロジー
(株)

Canon

キヤノン (株)



(株) 言語工学研究所



三協印刷 (株)

SANBI

三美印刷 (株)



鉄道情報システム (株)



東北電力 (株)



日本インターシステムズ(株)



日本ビクター (株)



日本放送協会放送技術研究所

インテル (株) / キーウェアソリューションズ (株) / (株) 数理計画 / (株) デンソー / (株) メディアフラッツ

【A～Z】

(株) CIJ
 (株) CSK システムズ
 (株) FFC
 (株) HBA
 HOYA(株)
 ITエンジニアリング(株)
 JRC エンジニアリング(株)
 (株) KDDI 研究所
 NEC インフロンティア(株)
 NEC システムテクノロジー (株)
 (株) NEC 情報システムズ
 NEC ソフト(株)
 NEC ソフトウェア東北(株)
 NEC フィールディング(株)
 NTT アドバンステクノロジー(株)
 NTT コムウェア(株)
 NTT ソフトウェア(株)
 (株) NTT データ
 (株) NTT データ関西
 (株) NTT データ九州
 (株) NTT データ中国
 (株) NTT データ東海
 (株) NTT データ東北
 (株) NTT ドコモ
 NTT 横須賀研究開発センター
 (株) PFU
 (株) QLC
 (株) SRA
 TIS (株)
 (株) UFJ 日立システムズ

【あ行】

アートシステム(株)
 アイアンドエルソフトウェア(株)
 (株) アイヴィス
 (株) アイ・エス・ビー
 アイシン精機(株)
 (株) アイズファクトリー
 (株) アイネス
 (株) 旭リサーチセンター
 (株) アドバンス・メディア
 (株) アライドテレシス開発センター
 (株) アルゴ21
 (株) アルファシステムズ
 池上通信機(株)
 (学)岩崎学園情報科学専門学校
 新横浜校
 岩崎通信機(株)
 (株) インタースコープ
 インダストリアルソフト(有)
 (株) インタフェース
 (株) インテック
 (株) インテル
 (株) インフォシティ
 (株) ヴァル研究所
 (株) エクサ
 (株) エスケーエレクトロニクス
 (株) エデュケーションネットワーク
 (株) エヌジェーケー

エヌ・ディー・アール(株)
 エヌ・ティ・ティ・データ・クリエイション(株)
 エムエイチアイエアロスペースシステムズ(株)
 オークマ(株)
 (株) 大塚商会
 (株) オーム社
 沖ソフトウェア(株)
 沖通信システム(株)
 沖電気工業(株)
 (株) 小野仁
 オムロン(株) 京阪奈イノベーションセンター
 オムロンソフトウェア(株)
 オリパスシステムズ(株)

【か行】

独立行政法人科学技術振興機構
 カスタム・テクノロジー (株)
 (財)画像情報教育振興協会
 (学)片柳学園日本工学院専門学校
 (学)片柳学園日本工学院八王子
 専門学校
 カテナ(株)
 関西電力(株)
 関電システムソリューションズ(株)
 キューウェアソリューションズ(株)
 (財)機械振興協会
 キヤノン(株)
 キヤノン(株)研究推進課
 キヤノンソフトウェア(株)
 (財)九州システム情報技術研究所
 九州電力(株)
 共立出版(株)
 近畿日本鉄道(株)
 ゲーグル(株)
 (財)釧路根室圏産業技術振興センター
 (株)言語工学研究所
 原電情報システム(株)
 (株) コア
 (株) 構造計画研究所
 (株) 高知電子計算センター
 (株)国際電気通信基礎技術研究所
 国土館大学情報科学センター
 独立行政法人国立印刷局研究所
 国立国会図書館
 コニカミノルタテクノロジーセンター(株)
 (株) コミュニチュア

【さ行】

(株) サイエンスハウス
 (株) サイエンティア
 (株) サイクス
 サクサ(株)
 サクシード(株)
 三協印刷(株)
 産業図書(株)

三美印刷(株)
 サン・マイクロシステムズ(株)
 三洋電機(株)
 三洋電機(株) デジタルシステム研究所
 (株) シーエーシー
 (株) ジーダット
 (株) ジェイアールシステム・エンジニアリング
 (株) ジェイアール東日本情報システム
 (株) ジェイティービー
 (株) ジェーエムエーシステムズ
 四国電力(株)
 システム・オートメーション(株)
 (株) システムラボ
 シチズン時計(株)
 シャープ(株)技術本部
 シャープ(株)通信システム事業本部
 (株) ジャステック
 (株) ジャストシステム
 (株) ジャパンテクニカルソフトウェア
 (財)情報科学国際交流財団
 (社)情報サービス産業協会
 (財)情報処理相互運用技術協会
 (株)新社会システム総合研究所
 新日鉄ソリューションズ(株)
 (株) 数理計画
 住商情報システム(株)
 住友電気工業(株)
 (株)先端力学シミュレーション研究所
 セントラル・コンピュータ・サービス(株)
 (株) 全農ビジネスサポート
 (株) 創夢
 ソニーグローバルソリューションズ(株)
 (株) ソフトウェアコントロール
 (財) ソフトウェア情報センターソフトウェア特許情報センター
 (財) ソフトピアジャパン
 ソラン(株)

【た行】

(株) ダイナックス高松
 大和ハウス工業(株)
 拓殖大学
 (株) 中央コンピュータシステム
 中国電力(株)
 (株) 中電シーティーアイ
 中部電力(株)
 中部日本電気ソフトウェア(株)
 通研電気工業(株)
 (株) ディーアンドエムホールディングス
 ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング(株)
 ティー・ディー・システムテクノロジー(株)
 テービーテック(株)

デジタルプロセス(株)
 鉄道情報システム(株)
 (財)鉄道総合技術研究所
 (株) テブコシステムズ
 (株) デュオシステムズ
 (株) 電産
 (社)電子情報技術産業協会
 (株) デンソー
 (株) デンソー幸田製作所
 (株) デンソーアイティーラボラトリ
 (株) デンソークリエイト
 (財)電力中央研究所
 東海ソフト(株)
 東海旅客鉄道(株)
 東京電力(株)
 東光(株)
 (株) 東芝
 東芝システムテクノロジー (株)
 東芝情報システム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東芝テック(株)
 東芝プロセスソフトウェア(株)
 東芝マイクロエレクトロニクス(株)
 東芝メディカルシステムズ(株)
 (学)東都学園東都コンピュータ専門学校
 東北電力(株)
 東北電力(株)研究開発センター
 (株) 東和システム
 特許庁
 凸版印刷(株)
 トップパン・フォームズ(株)
 (株) トヨコムシステムズ
 (株) トヨタコミュニケーションシステム
 トヨタ自動車(株)
 (株) 豊田中央研究所

【な行】

(学)中西学園名古屋学芸大学短期大学部
 名古屋学院大学
 (株) ニコン
 (株) ニコンシステム
 日興システムソリューションズ(株)
 日商エレクトロニクス(株)
 ニッセイ情報テクノロジー (株)
 日鉄日立システムエンジニアリング(株)
 日本アルゴリズム(株)
 日本コムシス(株)
 日本事務器(株)
 (株) 日本情報システムサービス
 日本電気(株)
 (株) 日本電気特許情報センター
 日本アイ・ビー・エム(株)
 日本インターシステムズ(株)
 (社) 日本化学会
 (株) 日本科学技術研修所
 日本銀行
 日本原子力研究開発機構

日本航空電子工業(株)	(株) ビー・エイチ・イー	アリング	研究所
日本情報通信コンサルティング(株)	(株) ビーコン インフォメーション	富士通サポートアンドサービス(株)	松下電工(株)
日本信号(株)	テクノロジー	(株) 富士通四国システムズ	マツダ(株)
(株) 日本総合研究所	ビーコンシステム(株)	(株) 富士通中国システムズ	三井情報開発(株)
日本テクトロニクス(株)	(株) ピクセラ	(株) 富士通中部システムズ	三菱スペース・ソフトウェア(株)
日本電子計算(株)	日立アイ・エヌ・エス・ソフトウェア(株)	(株) 富士通東北システムズ	三菱電機(株)
日本電信電話(株)	(株) 日立アドバンスデジタル	(株) 富士通北陸システムズ	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
(株) 日本トラフィックコンピューターセンター	(株) 日立エイチ・ビー・エム	(株) 富士通ソーシアルサイエンス	三菱電機コントロールソフトウェア(株)
日本ビクター(株)	(株) 日立国際電気	ラボラトリ	三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)
日本ヒューレット・パッカード(株)	(株) 日立システムアンドサービス	富士通テン(株)	三菱プレジジョン(株)
ヒューレット・パッカード研究所	(株) 日立情報システムズ	フジテック(株)	ミリオン(株)
(財) 日本品質保証機構	日立情報制御ソリューションズ(株)	船井電機(株)	武蔵野美術大学
日本放送協会 放送技術研究所	(株) 日立製作所 システム開発研究所	フューチャーシステムコンサルティ	(株) メディアフラッツ
日本無線(株)	(株) 日立製作所 情報・通信グループ	ング(株)	森長電子(株)
日本ユニシス(株)	(株) 日立製作所 東北支社	ブラザー工業(株)	【や行】
日本ユニシス・ソリューション(株)	(株) 日立製作所 情報通信グループ	(株) プリヂェストン	ヤフー(株)
(株) 日本旅行	(株) 日立製作所 中央研究所	(株) プリッジ	ヤマトシステム開発(株)
(株) ニューメディア総研	(株) 日立製作所 中国支社	古野電気(株)	ヤマハ(株)
ネクストコム(株)	日立ソフトウェアエンジニアリング(株)	(株) プロアシスト	横河情報システムズ(株)
ネクストソリューション(株)	(株) 日立中国ソリューションズ	北陸電力(株)	横河電機(株)
(株) ノス	(株) 日立テクニカルコミュニケー	北陸日本電気ソフトウェア(株)	
(株) 野村総合研究所	ションズ	(株) 北海道ジェイ・アール・システム開発	
【は行】	(株) 日立ハイテクサイエンスシステムズ	(株) 堀場製作所	
パイオニア(株) 技術開発本部	(株) 日立東日本ソリューションズ	【ま行】	
パイオニア(株) 研究開発本部総合	(株) ファースト	マイクロソフト(株)	【ら行】
研究所	(株) フォーカスシステムズ	松下電器産業(株) コーポレート	リードエグジビションジャパン(株)
萩原電気(株)	(株) フジキカイ 名古屋工場	R&D 戦略室(大阪)	(株) リコー
パナソニック コミュニケーションズ	富士通(株)	松下電器産業(株) コーポレート	
(株)	富士通アクセス(株)	R&D 戦略室(東京)	
パナソニック モバイルコミュニ	富士通関西中部ネットテック(株)	松下電器産業(株) パナソニック	
ケーションズ(株)	(株) 富士通九州システムエンジニ	AVC ネットワークス社	
パナソニック MSE(株)	アリング	(株) 松下電器情報システム名古屋	
パナソニック四国エレクトロニクス	(株) 富士通南九州システムエンジ	研究所	
(株)	ニアリング	(株) 松下電器情報システム広島研	
	(株) 富士通長野システムエンジニ		

◎◎ 協力協定締結学会との正会員会費割引について ◎◎

各学会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
 本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaian/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・割引率 (当会の正会員対象)

ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会会費割引率

正会員費 10% (協力協定学会の正会員対象)

【申請方法】 会費割引を希望する正会員の方 (これから入会する方を除く) は、その旨を協力協定締結各学会正会員の会員証コピーを添付 (Fax 可) のうえ、下記照会先に申請してください。各学会への照会後に適用となります。割引適用は1学会分といたします。

※これから入会を希望する方は、入金金免除を受ける方法 (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/nyukai/nyukaikaimenjo.html>) をご参照ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail: mcm@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375